

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

### 3. システム化業務フロー

#### 3.1 本システムのアクターとユースケース

本システムのアクターを、表 3-1 に示す。

表 3-1 お薬手帳バックアップシステムアクター一覧

|   | アクター                | 役割  |
|---|---------------------|---|
| 1 | お薬手帳サービス事業者         | お薬手帳バックアップサービスに加入する。<br>お薬手帳アプリケーションを利用者(患者)に提供する。                                    |
| 2 | お薬手帳バックアップサービス提供事業者 | お薬手帳サービス事業者に対して、お薬手帳バックアップサービスを提供する。  |
| 3 | お薬手帳利用者(患者)         | お薬手帳アプリケーションを利用する。<br>お薬手帳バックアップサービスを利用して、自身のデータのバックアップ、及び、リストアを行う。                   |
| 4 | 管理者                 | お薬手帳バックアップサービス提供事業者に属す、または、委託を受け、お薬手帳バックアップシステムの運用管理を行う。管理者ユーザの登録や、特権ユーザの登録を行うことができる。 |
| 5 | 特権ユーザ               | お薬手帳サービス事業者に属し、有事の際に、お薬手帳の内容を参照できる参照用ユーザの発行権限を持つユーザ。                                  |
| 6 | 参照用ユーザ              | お薬手帳サービス事業者に属し、有事の際に、お薬手帳の内容を参照できる権限を持つユーザ。   |

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

### 3.2 バックアップサービスへの加入

お薬手帳サービス事業者が、バックアップサービスに加入にする際の業務フローを示す。バックアップサービス事業者は、お薬手帳サービス事業者からのバックアップサービスの申し込み時に、お薬手帳サービス事業者に対して、一意となるサービス事業者 ID を付与する。

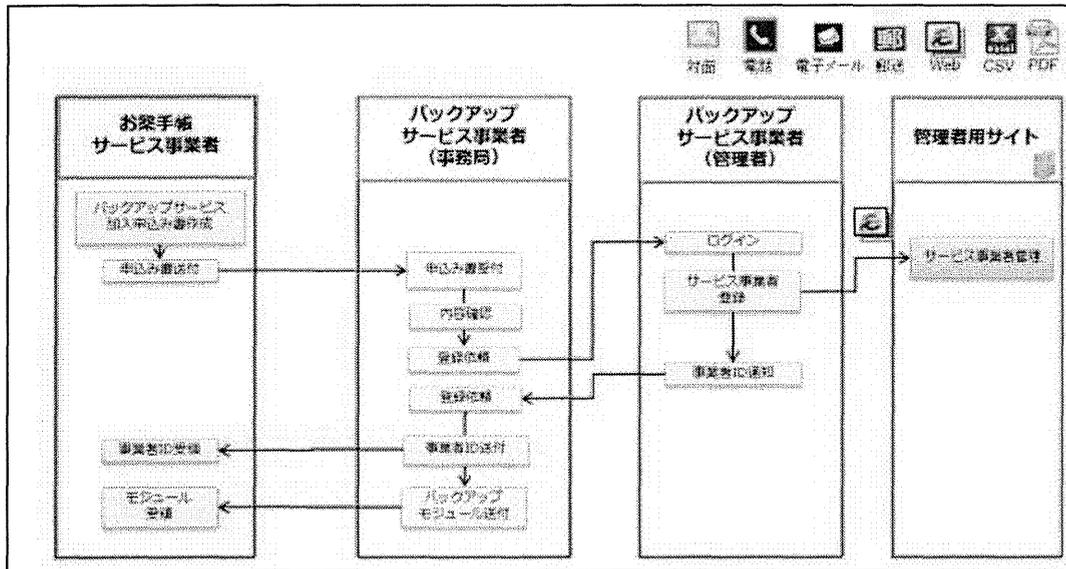


図 3-1 業務フロー (バックアップサービスへの加入)

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

### 3.3 バックアップ

バックアップサービスを利用する利用者が、お薬手帳の内容をバックアップする。

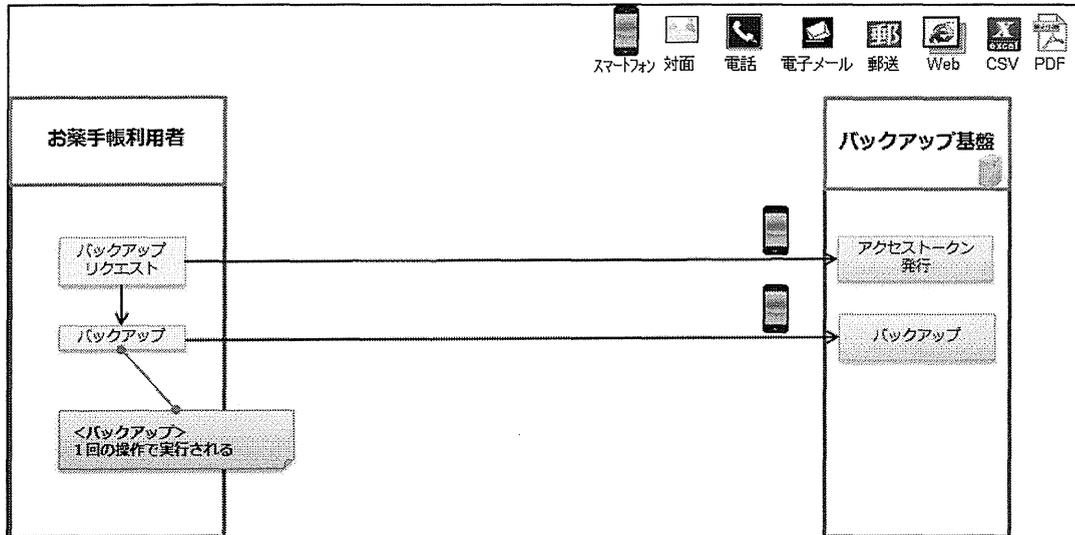


図 3-2 業務フロー (バックアップ)

### 3.4 リストア

バックアップサービスを利用する利用者が、お薬手帳の内容をリストアする。

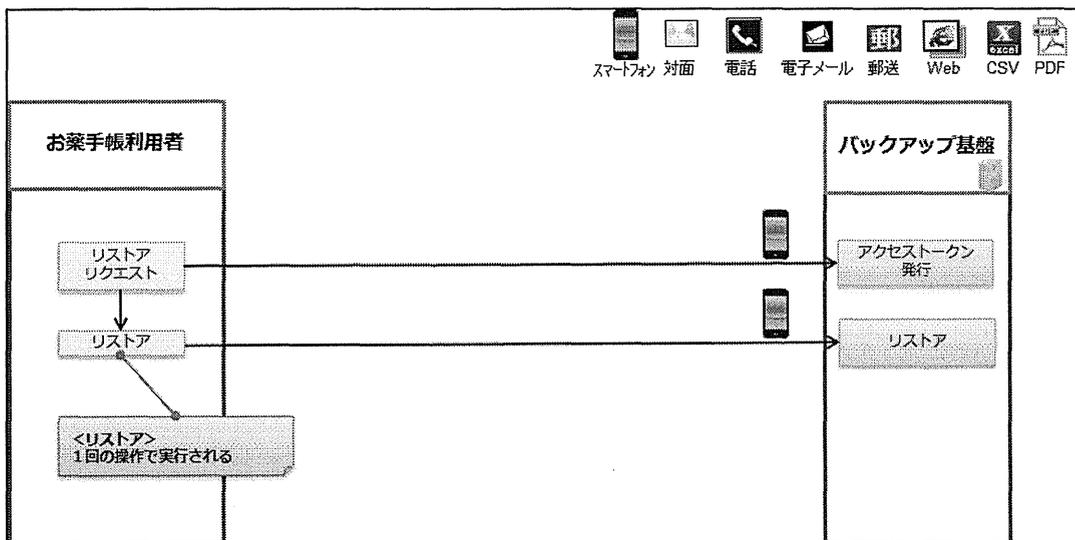


図 3-3 業務フロー (リストア)

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

### 3.5 有事における服薬履歴の参照

有事の際に、服薬履歴を参照するための業務フローを示す。

バックアップサービス事業者の管理者は、モード切替画面で、非常時モードに切り替える。お薬手帳サービス事業者の特権ユーザアカウントを払出すことができる。

特権ユーザアカウントは、自身の事業者の参照用ユーザアカウントを払出すことができる。参照用ユーザアカウントは、参照用サイトにログインし、お薬手帳の内容を参照することができる。

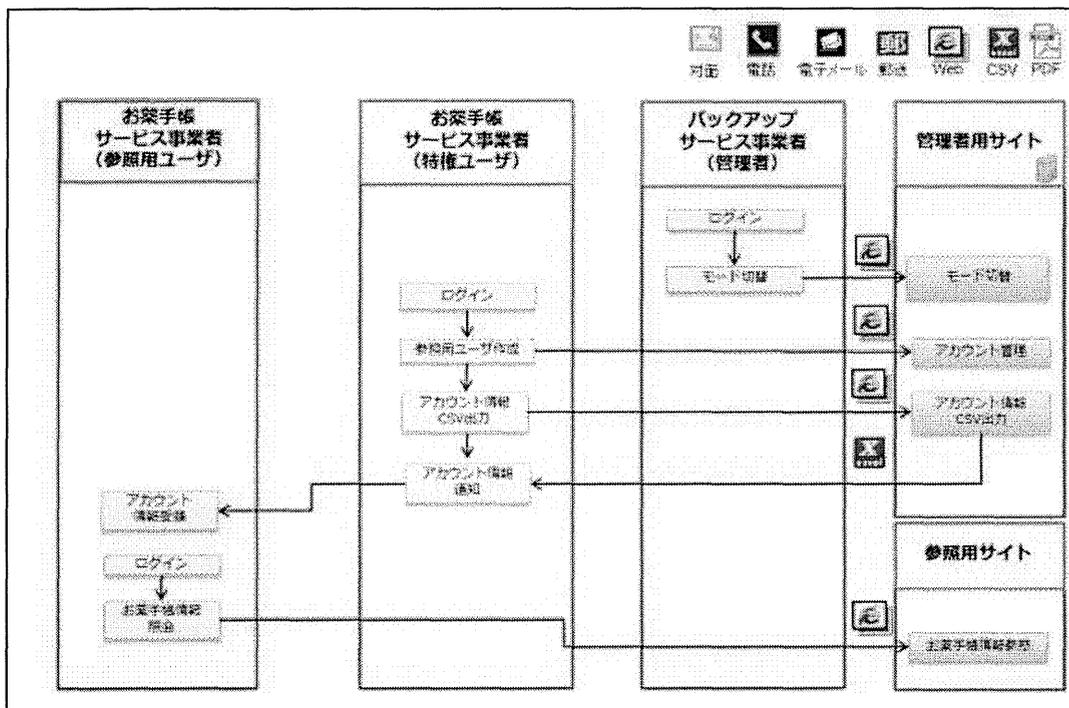


図 3-4 業務フロー（有事における服薬履歴の参照）

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

## 4. 管理側機能

### 4.1 機能要件

本システムの管理者用サイトの機能要件を示す。

- 利用者認証
  - ✓ お薬手帳バックアップシステム 管理者用サイト(以下、管理者用サイトと呼ぶ)は、管理者用サイトの利用者認証機能を実現すること。
  - ✓ 管理者用サイトは、管理者ユーザ、及び、特権ユーザの2種類のアカウントを管理できること。
  - ✓ 管理者用サイトの管理者ユーザ、及び、特権ユーザは、本システムによって予め発行されたIDとパスワードで、管理者用サイトにログインできること。
  - ✓ 各ユーザは、ユーザ自身のパスワードを変更可能なこと。
- アカウント管理機能
  - ✓ お薬手帳バックアップシステムの管理者ユーザは、サービス事業者に対して特権ユーザを発行できること。
  - ✓ お薬手帳バックアップシステムの管理者ユーザ、特権ユーザは、参照用ユーザの作成や編集が可能なこと。
  - ✓ 特権ユーザ、参照用ユーザのアカウントは、有効期限が設定できること。
  - ✓ アカウント情報は、サービス事業者に初期登録情報を提供するために、CSVファイルとして出力可能なこと。
- サービス事業者管理
  - ✓ お薬手帳サービス事業者の情報の登録、更新、削除が行なえること。
  - ✓ お薬手帳サービス事業者へ、ユニークなIDを発行することができること。
- アクセスログ参照
  - ✓ 管理者ユーザは、本システムのアクセスログが参照できること。
- モード切替
  - ✓ 管理者ユーザは、通常モードと非常時モードを切り替えることができること。

### 4.2 利用者認証機能

本システムでのユーザ認証は、ユーザID、パスワードによる認証を行う。パスワードについては「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に従い、8桁以上の英数字記号混在を基本とするが、設定により制約を変更することを可能とする。機能仕様の詳細は、「基本設計書(ログイン機能)」に示す。

### 4.3 アカウント管理機能

アカウント管理機能として、

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

- ログイン ID
- 氏名
- 有効期限(管理者ユーザは任意)
- 所属事業者(特権ユーザ/参照用ユーザの登録時のみ)
- パスワード
- 権限区分(管理者/特権ユーザ/参照用ユーザ)

を設定することができる。

アカウント管理機能で設定されたパスワードは、初期パスワードとして登録されるものであり、次回ログイン時には強制的にパスワード変更が求められるものとする。

権限として、ユーザ管理、システム設定、ストレージ検索の3種類の権限を指定することができる。

表 4-1 に、利用者の操作権限と利用可能な機能の関係を示す。

機能仕様の詳細は、「基本設計書(アカウント管理)」に示す。

表 4-1 権限-機能マップ

| No | 機能名称      | 操作        | 管理者ユーザ | 特権ユーザ | 参照用ユーザ |
|----|-----------|-----------|--------|-------|--------|
| 1  | アカウント管理   | 検索        | ○*1    | ○*2   | —      |
| 2  |           | 新規登録      | ○*1    | ○*2   | —      |
| 3  |           | 修正        | ○*1    | ○*2   | —      |
| 4  |           | 削除        | ○*1    | ○*2   | —      |
| 5  |           | アカウント情報出力 | ○*1    | ○*2   | —      |
| 6  | サービス事業者管理 | 検索        | ○      | —     | —      |
| 7  |           | 新規登録      | ○      | —     | —      |
| 8  |           | 修正        | ○      | —     | —      |
| 9  |           | 削除        | ○      | —     | —      |
| 10 |           | 印刷        | ○      | —     | —      |
| 11 | パスワード変更   | 更新        | ○      | ○     | ○      |
| 12 | アクセスログ参照  | 検索        | ○      | —     | —      |
| 13 | モード切替     | 更新        | ○      | —     | —      |

○:利用可能/—:利用不可

\*1:管理者ユーザ、特権ユーザ、参照用ユーザが操作対象となる。

\*2:参照用ユーザのみが操作対象となる。

#### 4.4 アカウント情報出力

アカウント管理機能で検索し一覧表示されたアカウント情報から対象を選択し、CSV ファイルに出力する機能。以下の項目を出力する。対象の選択は全選択、全解除が可能。機能仕様の詳細は、「基本設計書(アカウント管理)」に示す。

- ログイン ID

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

- 初期パスワード
- 氏名
- 権限区分
- 所属サービス事業者 ID
- 所属サービス事業者名称
- 有効期限(From)
- 有効期限(To)

#### 4.5 サービス事業者管理

お薬手帳サービス事業者の管理として、検索、新規登録、修正、削除、印刷を行う機能。サービス事業者の情報として、以下の項目を登録できる。

- サービス事業者 ID(自動発行)
- サービス事業者名称
- 有効区分
- 担当者
- 担当者連絡先
- 備考

登録と同時に、スマートフォンからのアクセス時に必要なシークレットキーを生成し、サービス事業者 ID に関連付ける。

シークレットキーは、サービス事業者情報の印刷時に、連携ファイルに印字する。

機能仕様の詳細は、「基本設計書(サービス事業者管理)」に示す。

#### 4.6 アクセスログ参照

本システムへのアクセスログを参照する機能。ユーザがアクセスした画面、及び、機能、アクセス日時、接続元 IP アドレスを表示する。管理者側機能、非常時参照用機能だけでなく、Android アプリケーションから接続したバックアップ、及び、リストアのログも記録する。

機能仕様の詳細は、「基本設計書(アクセスログ機能)」に示す。

#### 4.7 パスワード変更

本システムにログインしたユーザが、自身のパスワードを変更する機能。初回ログイン時は強制的にパスワード変更が行われる。

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

## 5. 非常時参照用機能

非常時参照用機能は、災害時等有事の際のブレークグラスとして、お薬手帳サービス事業者がお薬手帳情報を参照できるようにする機能である。管理側機能のモード切替機能により、管理者ユーザが非常時モードに切り替えた場合にのみ利用可能となる。

### 5.1 機能要件

以下に、非常時参照用機能の機能要件を示す。

- 非常時モードの場合にのみ 参照用ユーザのログインを許可すること。
- お薬手帳バックアップシステムの参照用ユーザは、参照用機能にログインし、受診日の範囲で患者を検索し、その患者のお薬手帳の内容を確認することができること。

### 5.2 非常時利用者認証

非常時モードが有効となった場合に限り、特権ユーザによって発行された参照用アカウントで利用者認証を行う。通常時モードの場合は、有効期限内であってもログインすることはできない。詳細は、基本設計書(非常時ログイン)に示す。

機能仕様の詳細は、「基本設計書(非常時ログイン機能)」に示す。

### 5.3 お薬手帳参照

参照用ユーザは、お薬手帳データを照会することができる。お薬手帳情報は、患者氏名、受診日(調剤年月日)の範囲、生年月日の範囲で検索することができる。一覧検索したデータは、詳細表示画面で内容を確認することができる。また、CSV ファイル、もしくは、HL7 形式ファイルとしてもダウンロードすることができる。

機能仕様の詳細は、「基本設計書(お薬手帳参照機能)」に示す。

### 5.4 パスワード変更

参照用ユーザが、自身のパスワードを変更する機能。初回ログイン時は強制的にパスワード変更画面に遷移する。

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

## 6. バックアップ基盤機能

バックアップ基盤機能の機能要件を示す。

- 端末から送信されたお薬手帳データを受け取り、契約サービス事業者であることの確認をとり、ストレージに補完することができること。
- インデックス DB 作成機能、及び、CSV-SSMIX2 変換機能を利用し、データを変換し保存できること。
- 端末からのバックアップリクエストに対して、契約された事業者からのリクエストであることをシステム的に確認する手段として、リクエストを認可するためのアクセストークンを発行する機能を有すること。

### 6.1 バックアップ機能

Android アプリケーションから要求されたバックアップデータを、バックアップサーバに格納する。データは、「JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver.1.1」に準拠した CSV データを使用する。CSV データは、HL7 Ver2.5 調剤実施メッセージに変換し、SS-MIX2 標準化ストレージ内の拡張ストレージに格納する。同時に、取得した CSV データも保持する。

#### 6.1.1 入出力関連図

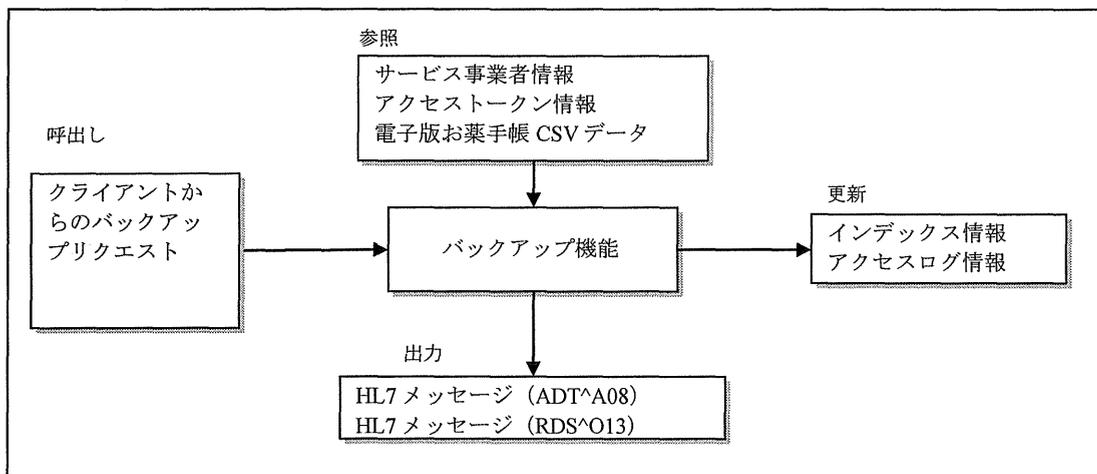


図 6-1 バックアップ機能入出力関連図

#### 6.1.2 処理概要

バックアップ機能の処理フローを以下に示す。

本処理は、クライアントのバックアップ要求を受信し、処理が開始される。前提条件は、アクセストークン発行処理にて、事前にアクセストークンが発行されていることである。

<入出力パラメータ>

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

表 6-1 バックアップ機能入出力パラメータ

| IN/OUT | パラメータ           | 説明   |
|--------|-----------------|--|
| IN     | サービス事業者 ID      | サービス事業者に付与される識別子。  |
| IN     | 利用者 ID          | サービス事業者内のユニークなユーザ ID。                                    |
| IN     | アクセストークン        | 取得したアクセストークン。  |
| IN     | 電子版お薬手帳 CSV データ | バックアップ対象のデータを含む電子版お薬手帳フォーマットデータ。<br>サービス事業者毎の共通鍵で暗号化される。 |
| OUT    | 処理結果            | バックアップ処理の成否を伝える処理結果情報。                                   |

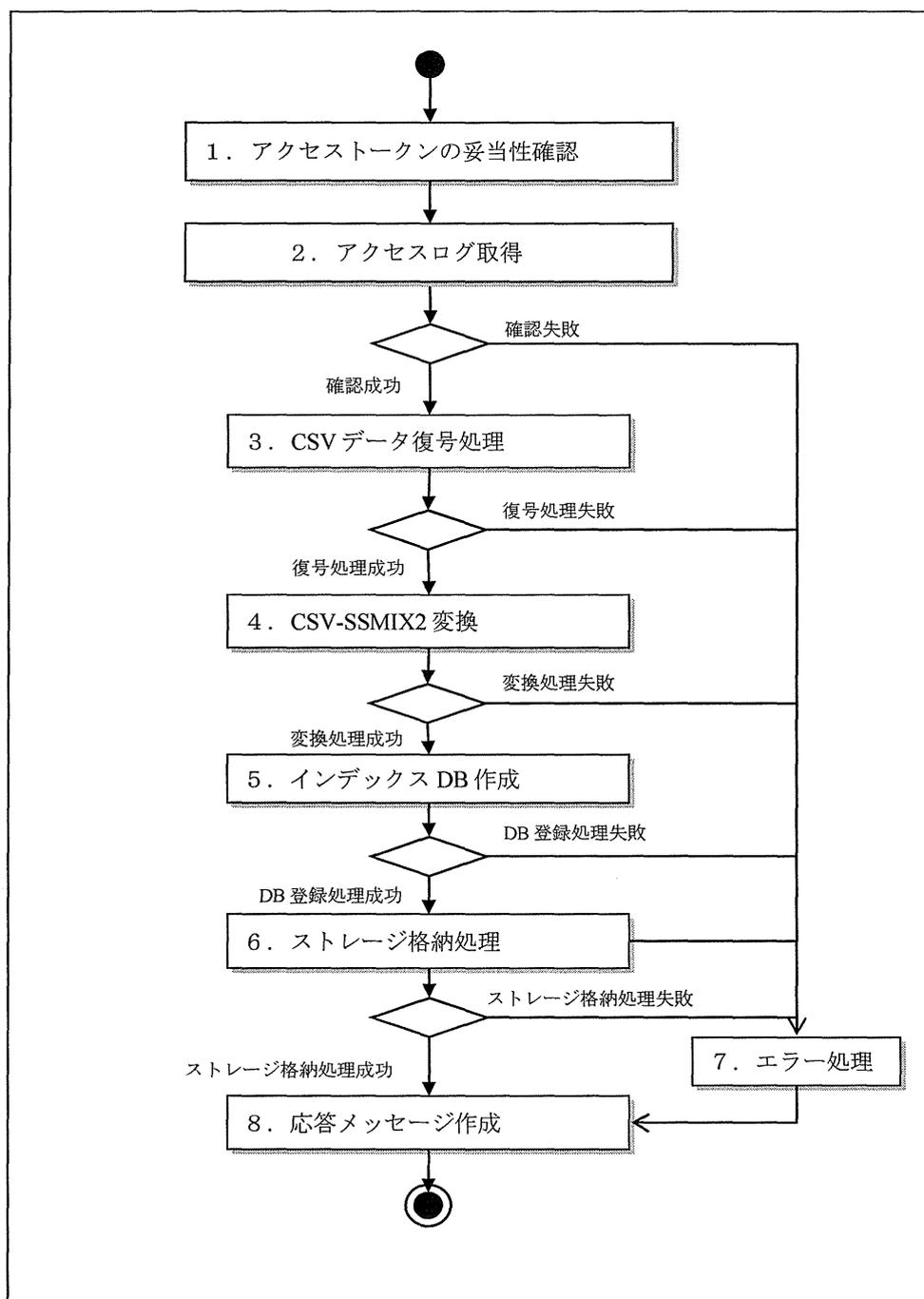


図 6-2 バックアップ機能処理フロー

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

### 6.1.3 処理詳細

#### 6.1.3.1 アクセストークンの妥当性確認

バックアップリクエストに付与されたアクセストークンの妥当性として、以下の 2 点を確認する。

- ・ アクセストークン発行機能により、リクエスト元のサービス事業者とユーザ ID に対して、アクセストークンが発行済であること。
- ・ アクセストークンの期限が有効期限内であること。

妥当性確認に失敗した場合、システムログにエラーを出力し、バックアップ処理失敗の応答を返却する。

#### 6.1.3.2 アクセスログ取得

アクセスログを取得し、アクセスログ情報に書き込む。処理詳細は、「アクセスログ取得機能」を参照。

#### 6.1.3.3 CSV データ復号処理

CSV データには、サービス事業者に配布されるアプリケーションモジュールに組み込まれた、サービス事業者毎の共通鍵で暗号化されている。バックアップシステムは、バックアップデータを受信後、サービス事業者毎の共通鍵で、データを復号化する。

復号化に失敗した場合には、システムログにエラーを出力し、復号処理失敗の応答を返却する。

#### 6.1.3.4 CSV-SSMIX2 変換

CSV-SSMIX2 変換機能を利用し、JAHIS お薬手帳 CSV フォーマットデータを、HL7(SS-MIX2)形式のデータに変換する。処理詳細は、「CSV-SSMIX2 変換機能」を参照。

#### 6.1.3.5 インデックス DB 作成

HL7(SS-MIX2)形式データ変換後、SS-MIX2 ストレージにファイルを格納するために必要となるインデックス情報をデータベースに確認する。処理詳細は、「インデックス DB 作成機能」を参照。

#### 6.1.3.6 ストレージ格納処理

HL7(SS-MIX2)形式データを、SS-MIX2 標準化ストレージ、及び、拡張ストレージに格納する。格納仕様は以下の通りとする。

- ・ 有事の際に、サービス事業者を跨った検索を実行できる必要があることから、SS-MIX2 ストレージは、複数のお薬手帳サービス事業者全体で1つのストレージとする。
- ・ (お薬手帳)サービス事業者 ID とサービス事業者内でのユーザ ID の組み合わせを、SS-MIX2 ストレージにおける患者 ID とする。
- ・ お薬手帳フォーマットの患者情報レコードと患者特記レコードは必須とし、患者基本情報として患者情報更新(ADT^A08)メッセージを作成し格納する。
- ・ ADT^A08 メッセージは 1 患者で 1 有効ファイルとし、バックアップ要求毎に、現在格納されているファイルを無効にし、新たなファイルを格納する。
- ・ 調剤実施情報(RDS^O13)メッセージは、SS-MIX2 拡張ストレージに格納する。その際、データ種別は「OMP-91」とする。
- ・ 調剤年月日を、SS-MIX2 ストレージの診療日とする。
- ・ ファイル名は、SS-MIX2 標準化ストレージ構築の説明と構築ガイドライン Ver1.2 仕様に準

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

拠する。オーダ No は、バックアップ機能で発番した一意の ID とし、診療科コードは「000」とする。コンディションフラグは「0:無効」、「1:有効」を使用する。

➤ [患者 ID][診療日][データ種別][オーダ No][発生日時][診療科コード][コンディションフラグ]

- バックアップ要求で受信した CSV ファイルは、オリジナルファイルとして、拡張ストレージに格納し、リストア処理で利用する。データ種別は「OMP-99」とする。

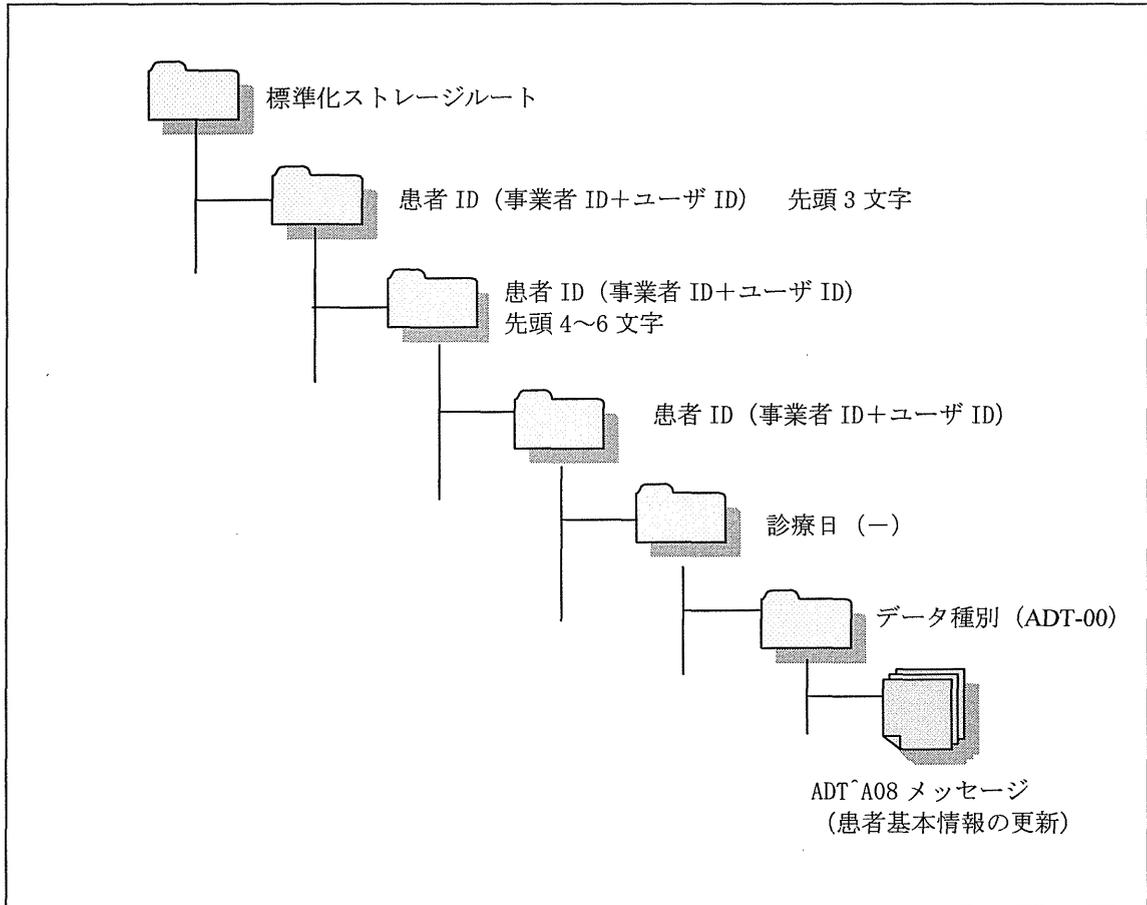


図 6-3 患者基本情報の格納仕様

表 6-2 患者基本情報の格納仕様

| No | 項目    | 内容   |
|----|-------|--|
| 1  | 患者 ID | サービス事業者 ID とサービス事業者内でのユーザ ID を連結した文字列を患者 ID として扱う。 |
| 2  | 診療日   | 患者基本情報の場合は「-」を設定する。                                |
| 3  | データ種別 | 患者基本情報の更新「ADT-00」を設定する。                            |

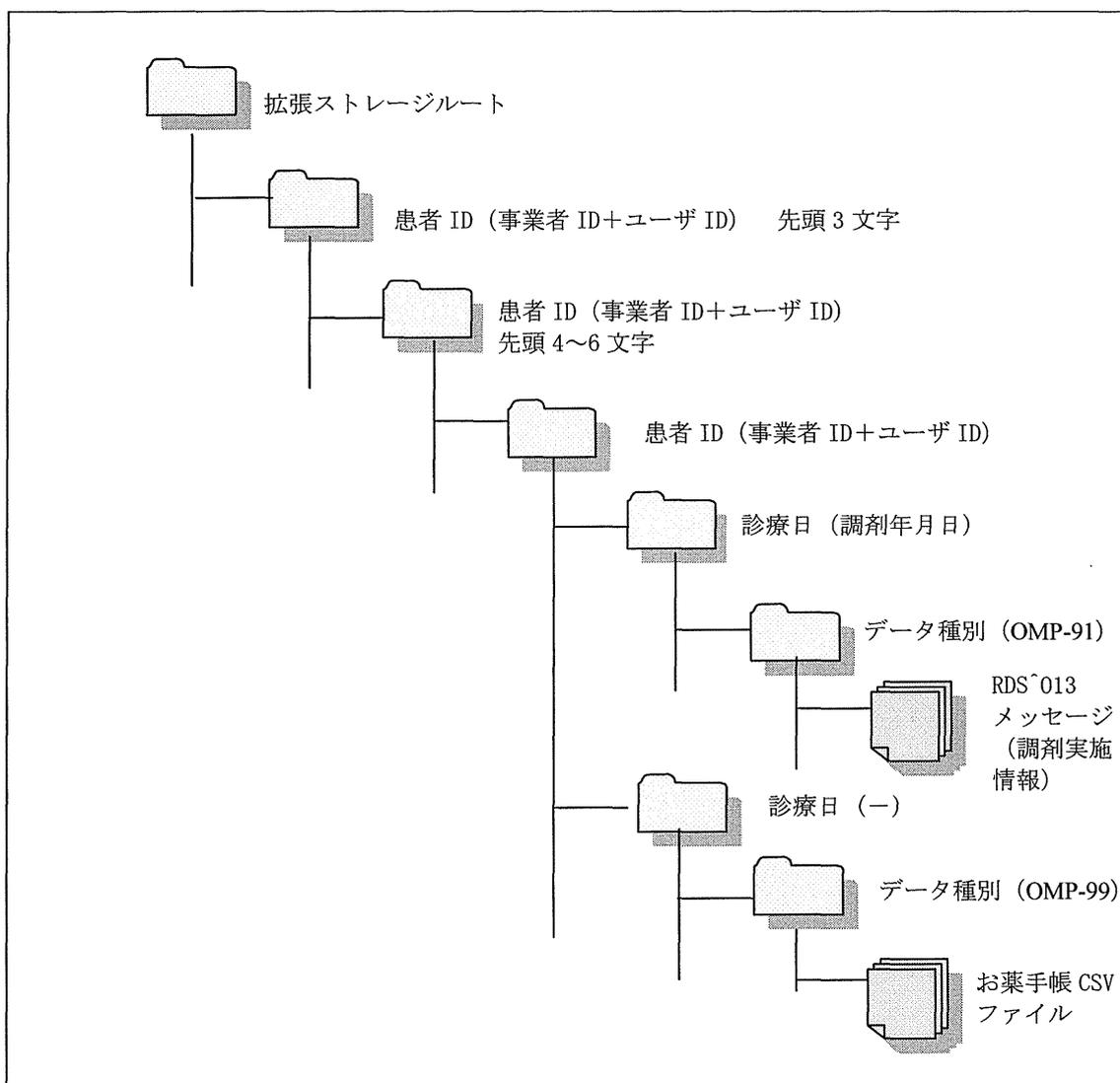


図 6-4 調剤実施情報の格納仕様

表 6-3 調剤実施情報の格納仕様

| No | 項目    | 内容  |
|----|-------|---|
| 1  | 患者 ID | サービス事業者 ID とサービス事業者内でのユーザ ID を連結した文字列を患者 ID として扱う。                    |
| 2  | 診療日   | 調剤実施情報は、調剤年月日を診療日とする。バックアップ対象のお薬手帳 CSV ファイルの格納フォルダの診療日は「-」とする。        |
| 3  | データ種別 | 調剤実施情報は、本仕様で定めた「OMP-91」を設定する。<br>お薬手帳 CSV ファイルは、本仕様で定めた「OMP-99」を設定する。 |

|  |                                |
|--|--------------------------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書<br>基本設計書 | Version 1.0<br>更新日付: 2015/2/26 |
|--|--------------------------------|

### 6.1.3.7 エラー処理

システムログにエラーを出力し、バックアップ処理失敗を応答する。

### 6.1.3.8 応答データ生成

バックアップ処理に成功した場合、バックアップ処理成功のレスポンスデータを出力する。エラー処理が実行された場合は、バックアップ処理失敗のレスポンスデータを出力する。

## 6.2 リストア機能

Android アプリケーションから要求されたリストア要求より、対象の CSV データを返却する。CSV データは、バックアップ時に拡張ストレージに格納した「JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver.1.1」に準拠した CSV データを使用する。

### 6.2.1 入出力関連図

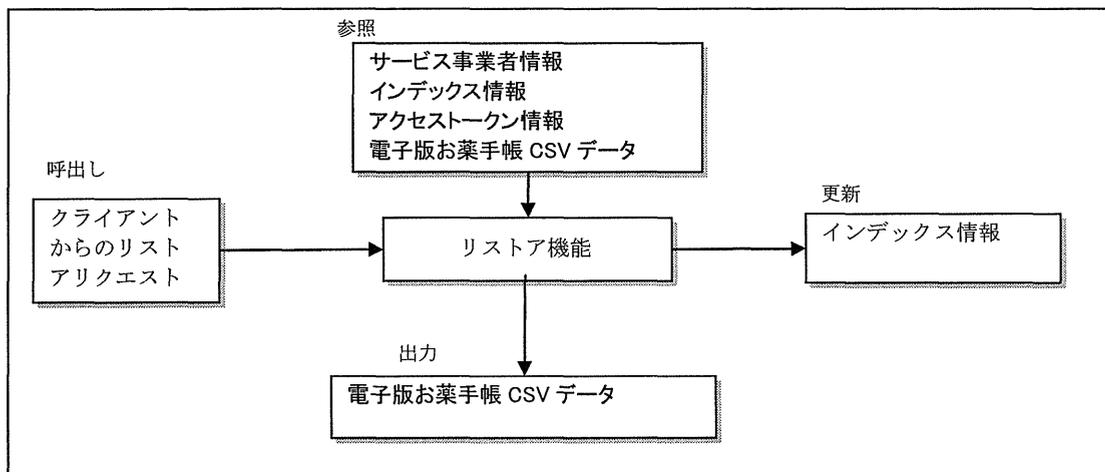


図 6-5 リストア機能入出力関連図

### 6.2.2 処理概要

リストア機能の処理フローを以下に示す。

本処理は、クライアントからのリストア要求を受信し、処理が開始される。前提条件は、アクセストークン発行処理にて、事前にアクセストークンが発行されていることである。

<入出力パラメータ>

表 6-4 リストア機能入出力パラメータ

| IN/OUT | パラメータ      | 説明                |
|--------|------------|-------------------|
| IN     | サービス事業者 ID | サービス事業者に付与される識別子。 |

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

|     |                 |   |
|-----|-----------------|---|
| IN  | 利用者 ID          | サービス事業者内のユニークなユーザ ID。   |
| IN  | アクセストークン        | 取得したアクセストークン。   |
| IN  | リストア開始日         | リストアの開始対象となる受診日(調剤年月日)。指定された場合は、指定日以降(指定日を含む)をリストアの対象とする。指定がない場合は、全データを対象とする。 |
| OUT | 電子版お薬手帳 CSV データ | リストア対象のデータを含む電子版お薬手帳フォーマットデータ。<br>サービス事業者毎の共通鍵で暗号化される。                        |

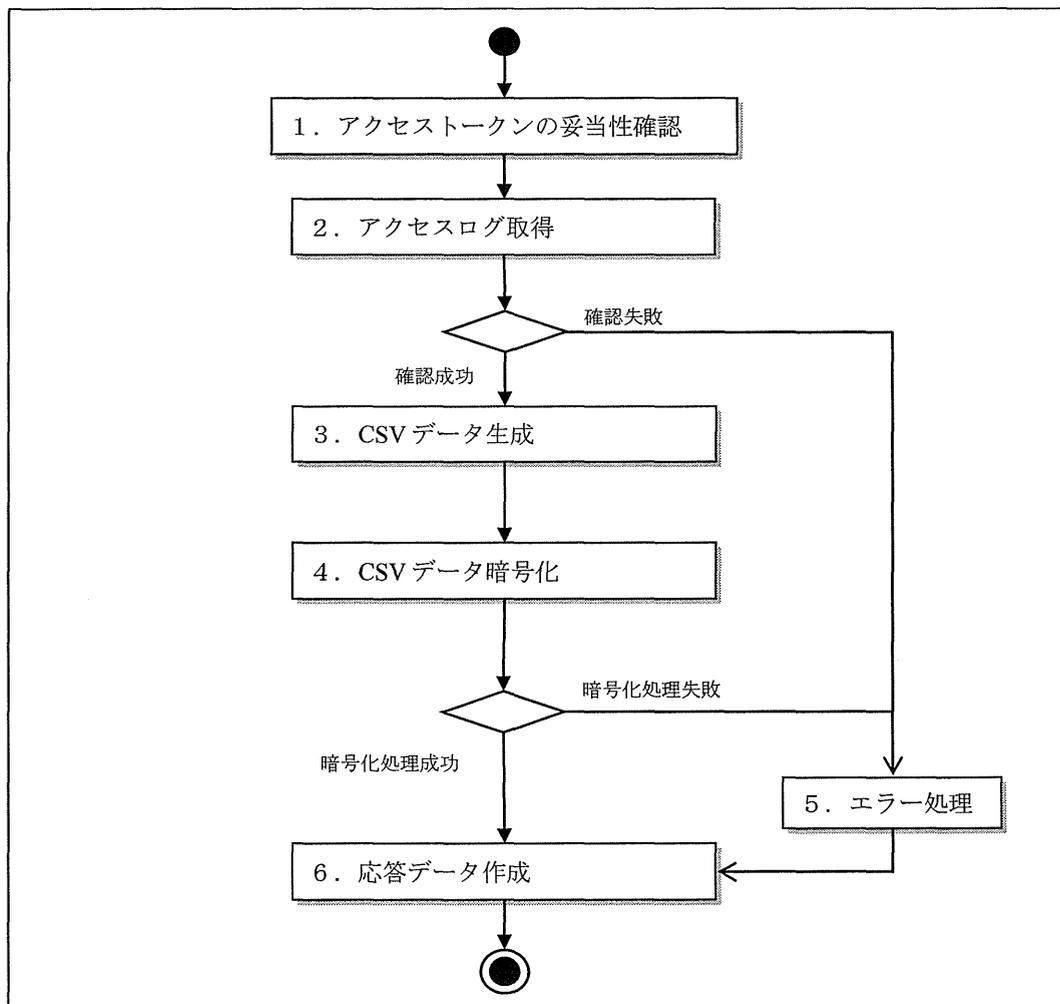


図 6-6 リストア機能処理フロー

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

## 6.2.3 処理詳細

### 6.2.3.1 アクセストークンの妥当性確認

リストリクエストに付与されたアクセストークンの妥当性として、以下の 2 点を確認する。

- ・ アクセストークン発行機能により、リクエスト元のサービス事業者とユーザ ID に対して、アクセストークンが発行済であること。
- ・ アクセストークンの期限が有効期限内であること。

妥当性確認に失敗した場合、システムログにエラーを出力し、リカバリー処理失敗の応答を返却する。

### 6.2.3.2 CSV データ生成

リストリクエストに指定されサービス事業者 ID とユーザ ID から、拡張ストレージ内の電子版お薬手帳 CSV データを取得する。

入力パラメータに「リストア開始日」が指定されている場合、対象の CSV ファイルから、指定されたリストア開始日以降(同日も含む)の調剤年月日を持つデータのみを抽出した CSV ファイルを作成する。「リストア開始日」が指定されていない場合は、全データを対象とする。

### 6.2.3.3 CSV データ暗号化

サービス事業者情報から、サービス事業者 ID に紐づく共通鍵を取得し、「CSV データ生成」処理で作成した CSV ファイルを暗号化する。

### 6.2.3.4 エラー処理

システムログにエラーを出力し、バックアップ処理失敗を応答する。

### 6.2.3.5 応答データ生成

バックアップ処理に成功した場合、バックアップ処理成功のレスポンスデータを出力する。エラー処理が実行された場合は、バックアップ処理失敗のレスポンスデータを出力する。

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

### 6.3 CSV-SSMIX2 変換機能

本機能は、JAHIS お薬手帳 CSV フォーマットでアップロードされたバックアップデータを、HL7 V2.5 調剤実施メッセージ(RDS^O13)に変換する機能である。

#### 6.3.1 入出力関連図

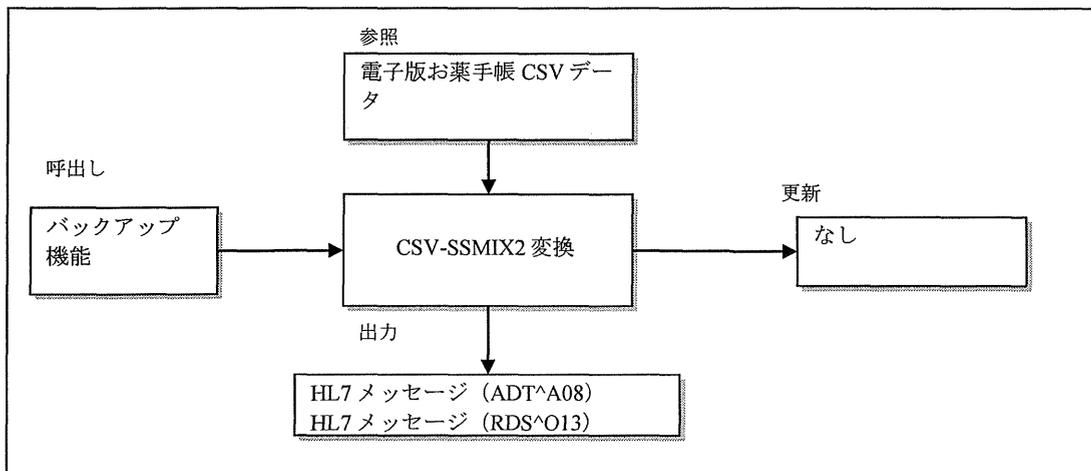


図 6-7 CSV-SS-MIX2 変換機能入出力関連図

#### 6.3.2 処理概要

JAHIS お薬手帳 CSV フォーマットを、SS-MIX2 標準化ストレージに格納するための変換を行う。お薬手帳 CSV フォーマットの患者情報レコード、及び、患者特記レコードを患者基本情報は、ADT^A08 (患者情報の更新)メッセージに変換する。調剤-医療機関等レコード、処方-医療機関レコード、調剤情報(薬品レコード、薬品補足レコード、用法レコード、用法補足レコード、処方服用注意レコード、服用注意レコード、備考レコード)は、RDS^O13(調剤実施)メッセージに変換する RDS^O13 は SS-MIX2 標準化ストレージ対応メッセージではないため、拡張ストレージに格納する。

<入出力パラメータ>

表 6-5 CSV-SSMIX2 変換機能入出力パラメータ

| IN/OUT | パラメータ           | 説明                               |
|--------|-----------------|----------------------------------|
| IN     | サービス事業者 ID      | サービス事業者に付与される識別子。                |
| IN     | 利用者 ID          | サービス事業者内のユニークなユーザ ID。            |
| IN     | 電子版お薬手帳 CSV データ | バックアップ対象のデータを含む電子版お薬手帳フォーマットデータ。 |
| OUT    | 処理結果            | 処理の成否を伝える処理結果情報。                 |

|                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| お薬手帳バックアップシステムお薬手帳バックアップシステム基本設計書 | Version 1.0     |
| 基本設計書                             | 更新日付: 2015/2/26 |

表 6-6 電子版お薬手帳データフォーマットと HL7 メッセージの対応

| 項番 | 電子版お薬手帳データフォーマット レコード | HL7 メッセージ           |
|----|-----------------------|---------------------|
| 1  | バージョンレコード             | 使用しない               |
| 2  | 患者情報レコード              | 患者基本情報の更新 (ADT^A08) |
| 3  | 患者特記レコード              | 患者基本情報の更新 (ADT^A08) |
| 4  | 調剤年月日レコード             | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 5  | 調剤－医療機関等レコード          | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 6  | 調剤－医師・薬剤師レコード         | 使用しない               |
| 7  | 処方－医療機関等レコード          | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 8  | 処方－医師レコード             | 使用しない               |
| 9  | 薬品レコード                | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 10 | 薬品補足レコード              | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 11 | 薬品服用注意レコード            | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 12 | 用法レコード                | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 13 | 用法補足レコード              | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 14 | 処方服用注意レコード            | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 15 | 服用注意レコード              | 調剤実施 (RDS^O13)      |
| 16 | 備考レコード                | 調剤実施 (RDS^O13)      |

### 6.3.3 処理詳細

マッピング仕様に従って、CSV データを変換する。マッピング仕様は、「8 章 CSV-SSMIX2 変換仕様」に示す。

### 6.4 インデックス DB 作成機能

バックアップ処理において、SS-MIX2 ストレージにファイルを格納する際に、検索に必要となる情報を保持するインデックス DB を作成する。

#### 6.4.1 入出力関連図

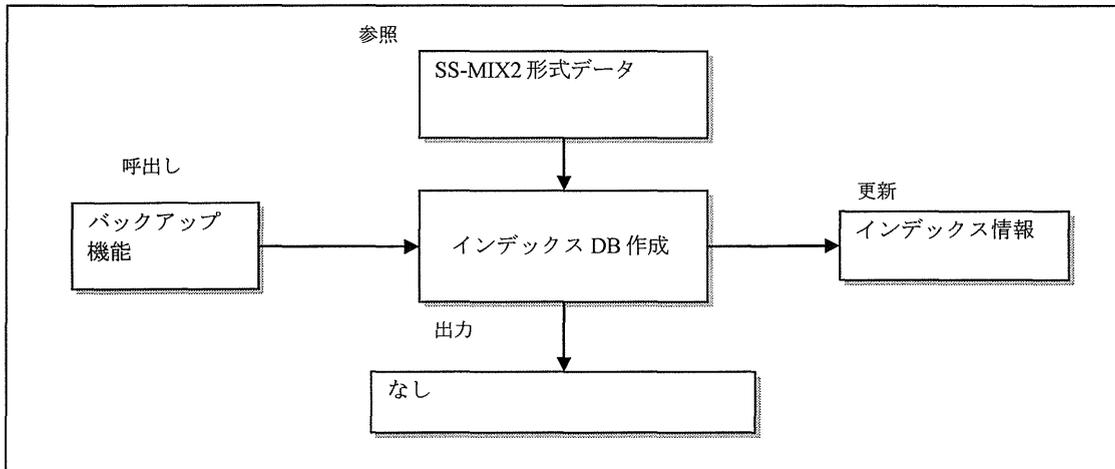


図 6-8 インデックス DB 作成機能入出力関連図

#### 6.4.2 処理概要

バックアップ処理において、インデックス DB の該当レコードを作成し追加する。

<入出力パラメータ>

表 6-7 インデックス DB 作成機能入出力パラメータ

| IN/OUT | パラメータ                | 説明   |
|--------|----------------------|--|
| IN     | サービス事業者 ID           | サービス事業者に付与される識別子。                              |
| IN     | 利用者 ID               | サービス事業者内のユニークなユーザ ID。                          |
| IN     | 利用者氏名                | 対象利用者の氏名                                       |
| IN     | 利用者生年月日              | 対象利用者の生年月日                                     |
| IN     | SS-MIX2 格納情報 DTO リスト | SS-MIX2 格納情報を保持する DTO。SS-MIX2 の 1 ファイルに1つ指定する。 |
| OUT    | 処理結果                 | 処理の成否を伝える処理結果情報。                               |

SS-MIX2 拡張情報 DTO のプロパティは、表 6-8 の仕様に従い設定する。